

プログラム一覧

学会長講演57

特別講演1～458

教育講演1～760

総会企画シンポジウム63

メインシンポジウム1～464

シンポジウム1～3274

特別企画1～2153

緊急企画154

地方衛生研究所研修フォーラム155

奨励賞受賞講演1～2158

優秀演題賞選考会1～12159

国際参加賞受賞講演1～9165

ランチョンセミナー1～5169

スポンサードセッション174

一般演題一覧177

プログラム

学会長講演

10月7日（金） 10:40～11:20 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

研究は住民にはじまり住民におわる

座長：田宮 菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）
演者：山縣 然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座、山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター）

特別講演1

10月7日（金） 9:30～10:00 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

新型コロナウイルスとのたたかい

座長：島田 眞路（国立大学法人山梨大学学長）
演者：長崎 幸太郎（山梨県知事）

特別講演2

10月7日（金） 10:05～10:35 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

欧州で鍛えられる白ワイン・甲州

座長：篠原 亮次（山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター）
演者：三澤 茂計（中央葡萄酒株式会社代表取締役社長）

特別講演3

10月7日（金） 13:40～14:40 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

新型コロナ これまでとこれから

座長：中村 好一（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門）
演者：尾身 茂（公益財団法人結核予防会）

特別講演4

10月7日（金） 14:50～15:40 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

人口減少社会のデザイン ―AIを活用した未来シミュレーションを視野に

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科医療経済学分野）
演者：広井 良典（京都大学人と社会の未来研究院）

教育講演1

10月8日（土） 11:00～11:50 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

我が国におけるワクチン政策と COVID-19

座長：多屋 馨子（神奈川県衛生研究所）
演者：岡部 信彦（川崎市健康安全研究所）

教育講演2

10月8日（土） 14:00～14:50 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

川崎病との40年

座長：坂田 清美（岩手医科大学）
演者：中村 好一（自治医科大学公衆衛生学教室）

教育講演3

10月8日（土） 14:55～15:45 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

ビッグデータで考える日本の医療と介護のこれから

座長：橋本 英樹（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻行動社会医学講座）
演者：松田 晋哉（産業医科大学医学部公衆衛生学教室）

教育講演4

10月8日（土） 10:25～11:15 第10会場（山梨県立図書館 多目的ホール）

身体活動を促す都市計画・まちづくり

座長：近藤 克則（千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門、国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター老年学評価研究部、一般社団法人日本老年学的评价研究機構）
演者：樋野 公宏（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻）

教育講演5

10月9日（日） 10:00～10:50 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

イノベーションに向けた当事者主体エンパワメントのコツとツボ

座長：篠原 亮次（山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター）
演者：安梅 勅江（筑波大学医学医療系国際発達ケア：エンパワメント科学研究室）

教育講演6

10月9日（日） 10:25～11:15 第10会場（山梨県立図書館 多目的ホール）

“輪”を“和”でつなぐー島田療育センターはちおうじにおける地域連携ー

座長：山縣 然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座、山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター）
演者：小沢 浩（島田療育センターはちおうじ神経小児科）

教育講演7

10月9日（日） 11:20～12:10 第10会場（山梨県立図書館 多目的ホール）

ゲーム行動症：その始まり、現状、課題

座長：井谷 修（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）
演者：樋口 進（独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター）

総会企画シンポジウム

10月8日（土） 16:00～17:20 第2会場（YCC 県民文化ホール 小ホール）

思春期・成人期につながるエコチル調査の未来

座長：山崎 新（国立環境研究所エコチル調査コアセンター）
中山 祥嗣（国立環境研究所環境リスク・健康領域）
演者：玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学）
上島 通浩（名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学分野）
神ノ田 昌博（環境省環境保健部）

メインシンポジウム1
10月7日（金） 15:50～17:50 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

新型コロナウイルス感染症の実像と対策～ウイズ・コロナとポスト・コロナの公衆衛生～

座長：前田 秀雄（東京都北区保健所） 中島 一敏（大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科）
演者：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の疫学的・ウイルス学的特徴と対策の課題 押谷 仁（東北大学大学院医学系研究科微生物学分野）
新型コロナウイルス感染症の中期および長期のリスク分析 西浦 博（京都大学大学院医学研究科）
COVID-19の災禍発生時に構築した保健医療体制を修正変更するロードマップの必要性 阿南 英明（神奈川県庁、藤沢市民病院）
保健所における情報分析機能強化への期待（積極的疫学調査結果の深堀調査を通じて） 渋谷 克彦（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

メインシンポジウム2
10月8日（土） 9:00～10:50 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

国民健康づくり運動の成果と課題、次期計画のあり方

座長：辻 一郎（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野） 山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座、山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター）
演者：基調報告 健康日本21（第二次）の成果と課題 辻 一郎（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野）
「健やか親子21（第2次）」から成育医療等基本方針へ：成果と課題 上原 里程（国立保健医療科学院政策技術評価研究部）
健康増進に向けた厚生労働省の取組 佐々木孝治（厚生労働省健康局健康課）
最近の母子保健行政の動き 山本 圭子（厚生労働省子ども家庭局母子保健課）
信州母子保健推進センターの役割と取組 西垣 明子（長野県健康福祉部）

「きらきらウェルネス」に至る地区保健活動とこれからの健康づくりについて 長島由利子（豊田市役所保健部地域保健課）

メインシンポジウム3
10月8日（土） 13:20～15:10 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

公衆衛生イノベーション－原点確認、変革推進－

座長：平野かよ子（宮崎県立看護大学） 山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座、山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター）
演者：保健師の原点：住民とともにつくる未来～通いの場「いーばしょ」事業の取組～ 天野奥津江（山梨県都留市長寿介護課地域包括支援センター）
市町村と県の保健師が一緒に取り組む子育て支援 市町村母子保健と連携した宿泊型産後ケア事業の取り組み 守屋 法子（甲府市子ども未来部子ども未来総室母子保健課（元山梨県保健師））
食育支援プログラムにおける官民連携・協働の取り組み 藤田 恭子（上尾市健康福祉部高齢介護課）
公共サービスにおけるデジタル活用事例と課題 関 治之（一般社団法人コード・フォー・ジャパン）

メインシンポジウム4
10月8日（土） 15:15～16:45 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

公衆衛生倫理について考える

座長：武藤 香織（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野） 内藤真理子（広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫学）
演者：公衆衛生倫理をめぐる視点と課題 井上 悠輔（東京大学医科学研究所公共政策研究分野）
公衆衛生倫理と法：医事行政法の観点から、COVID-19対策を素材に 磯部 哲（慶應義塾大学大学院法務研究科）
パンデミックと行動制限：公衆衛生倫理の可能性と課題 鈴木 基（国立感染症研究所感染症疫学センター）

シンポジウム1
10月7日（金） 15:00～16:10 第2会場（YCC 県民文化ホール 小ホール）

母と子のいのちと健康を守る、日本から世界へ、世界から日本へ！

座長：中村 安秀（日本 WHO 協会、国立看護大学校） 堀内 清華（山梨大学大学院附属出生コホート研究センター）
演者：母子保健の学びは国境を越えて：歴史空間的視座への誘い 中村 安秀（日本 WHO 協会、国立国際医療研究センター・国立看護大学校）
母と子の健康をまもる縦横の多分野・多職種連携・協働による社会的包摂 大西眞由美（長崎大学生命医科学域（保健学系））
ラオスにおける新型コロナをチャンスに捉えた地域保健活動の全国展開 窪田 祥吾（世界保健機関ラオス国事務所）
タンザニアにおける電子母子手帳×ソーシャルメディア"Taarifa za Mama"の開発 新福 洋子（広島大学大学院医系科学研究科国際保健看護学）

シンポジウム2
10月7日（金） 16:20～17:30 第2会場（YCC 県民文化ホール 小ホール）

住民と社会の健康を志向するデータリンケージ課題とその解決に向けて

座長：田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター）
近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野）

演者：高齢者領域におけるデータ結合による DX の可能性と課題
近藤 克則（千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門、国立長寿医療研究センター老年学評価研究部老年学・社会科学研究センター）

自治体と連携した乳幼児健診、学校健診情報由来のデータベースの構築とその活用
川上 浩司（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康解析学講座）

介護 DB の利活用と今後の展望
藤井 麻耶（厚生労働省老健局老人保健課介護保険データ分析室）

神戸市における公的データリンケージと活用例
三木 竜介（神戸市健康局健康企画課、株式会社リンクアンドコミュニケーション）

シンポジウム3
10月8日（土） 16:50～18:00 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

健康危機管理とは？富士山噴火史を踏まえた広域災害への対応

座長：内田 勝彦（大分県東部保健所）
奥田 博子（国立保健医療科学院）

演者：火山噴火の健康影響と富士山における噴火対策の現状
石峯 康浩（山梨県富士山科学研究所富士山火山防災研究センター）

富士山噴火における山梨県の地域保健の役割を考える
古屋 好美（甲府市福祉保健部（甲府市保健所））

熊本地震の検証等を踏まえた災害時保健医療福祉活動の広域災害対応への取り組みと課題
服部希世子（熊本県人吉保健所）

火山災害対策の課題と展望：オールハザード・アプローチの視点から
富尾 淳（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）

シンポジウム4
10月8日（土） 9:00～10:10 第2会場（YCC 県民文化ホール 小ホール）

健康危機管理、危機事態対応で繰り返される課題への対策－コロナ禍に学ぶ現場への提言－

座長：古屋 好美（甲府市福祉保健部（甲府市保健所））
中瀬 克己（吉備国際大学保健医療福祉学部看護学科）

演者：インシデント・コマンド・システム（ICS）の Covid-19対応への導入について
西塚 至（墨田区保健所）

健康危機のレジリエンス強化に向けて（厚労省コロナ本部地域支援班の経験から）
寺谷 俊康（厚生労働省）

COVID-19事例の疫学調査支援を中心とした国立感染症研究所の対応
砂川 富正（国立感染症研究所実地疫学研究センター）

新型コロナウイルスパンデミック等の危機管理における法制度の課題
坂元 昇（川崎市立看護大学）

シンポジウム5
10月8日（土） 10:15～11:25 第2会場（YCC 県民文化ホール 小ホール）

地域包括ケアシステムにおける薬剤師のあり方

座長：川崎 直人（近畿大学薬学部公衆衛生学、近畿大学アンチエイジングセンター）
多根井重晴（日本薬科大学社会薬学分野）

演者：改正された薬事法令の制度面から見た薬局・薬剤師への期待
小林 基夫（山梨県福祉保健部衛生薬務課）

山梨県における薬学生受け入れの現状
仲澤きよ美（（株）ファーマみらい共創未来若尾薬局）

地域包括ケアシステムを支える薬剤師の養成－薬学教育における「公衆衛生薬学」の導入とその意義－
戸張 裕子（東京薬科大学薬学部）

検体測定による生活習慣への介入効果の検証
藤山 裕児（杏林堂薬局静岡松富店）

シンポジウム6
10月8日（土） 14:40～15:50 第2会場（YCC 県民文化ホール 小ホール）

災害等の保健医療福祉マネジメントの進め方

座長：尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）
原岡 智子（松本看護大学看護学部看護学科公衆衛生看護学領域）

演者：災害時のマネジメントの基本的な考え方
富尾 淳（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）

避難所・在宅者等の支援
相馬 幸恵（新潟県三条地域振興局健康福祉環境部（三条保健所））

福祉・NPO 等や危機管理部門との連携
池田 和功（和歌山県湯浅保健所）

コロナ対応からみた災害マネジメント
藤内 修二（大分県福祉保健部）

シンポジウム7
10月8日（土） 9:00～9:50 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

睡眠と健康2022：小児の睡眠に焦点をあてて

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）
兼板 佳孝（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

演者：子どもの睡眠：日本の現状と世界の動向
大岡 忠生（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座、ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院救急診療部）

児童生徒の睡眠問題と不登校
駒田 陽子（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院）

小児の睡眠と健康：疫学調査を踏まえて
和田 裕雄（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

小児の睡眠と健康：行政の立場から
瀧川 久輝（前江東区教育委員会事務局学務課）

シンポジウム8
10月8日（土） 9:55～10:45 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

これからの子宮頸がん対策～HPV ワクチン接種勧奨再開～

座長：中山 富雄（国立がん研究センターがん対策研究所）
伊藤 ゆり（大阪医科薬科大学医学研究支援センター医療統計室）

演者：全国自治体調査～HPV ワクチン積極的接種勧奨再開を受けて～
片山佳代子（国立大学法人群馬大学情報学部、神奈川県立がんセンター臨床研究所がん教育ユニット）

これですべてが解決されたのか？～これからの子宮頸がん対策に求められること～
上田 豊（大阪大学大学院医学系研究科産科学婦人科学）

HPV ワクチン接種とその後の対応
牛田 享宏（愛知医科大学病院疼痛緩和外科・いたみセンター、愛知医科大学医学部疼痛医学講座）

大阪市における子宮頸がん検診・HPV ワクチン接種勧奨への取り組み
岡田めぐみ（大阪市健康局健康推進部）

シンポジウム9
10月8日（土） 10:50～11:40 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

がん登録情報の利用による公益と個人情報保護のバランス

座長：猿木 信裕（群馬県衛生環境研究所、群馬県立がんセンター、日本がん登録協議会）
祖父江友孝（大阪大学、国立がん研究センター）

演者：がん登録情報を利用して得られる公益を考える ～青森県の事例から～
松坂 方士（弘前大学医学部附属病院医療情報部）

がん登録情報の国際機関との共同利用
大木いずみ（埼玉県立大学健康開発学科）

疫学研究におけるがん登録情報の利用
伊藤 秀美（愛知県がんセンターがん情報・対策研究分野）

個人情報保護の立場からのがん登録データ利用
石井夏生利（中央大学国際情報学部）

シンポジウム10
10月8日（土） 16:00～16:50 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

Life-course Immunization の実現に向けて
「生涯を通して、必要な時に必要なワクチンが接種できる仕組み」の重要性

座長：角野 文彦（滋賀県健康医療福祉部）

演者：Life-course Immunization について（新型コロナの話題も含めて）
岡部 信彦（川崎市健康安全研究所）

思春期・青年期のワクチン
中山久仁子（医療法人メファ仁愛会マイファミリークリニック蒲郡）

現役ミドル世代のワクチン（MR ワクチン）
多屋 馨子（神奈川県衛生研究所）

シニア世代のワクチン 肺炎球菌ワクチン
鈴木 智之（滋賀県健康医療福祉部感染症対策課）

シンポジウム11
10月8日（土） 16:55～17:45 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

地域包括ケアと災害保健医療福祉対策：多職種連携から多領域連携へ

座長：松本 良二（千葉県香取保健所）
石田久美子（茨城県竜ヶ崎保健所）

演者：地域包括ケアと災害医療対策：保健所の調整機能の重要性
松本 良二（千葉県香取保健所、植草学園大学）

実効性ある多職種連携を実現するための技術を考える
石井美恵子（国際医療福祉大学大学院災害医療分野）

災害社会学の視点の必然性：発災前から復興まで
金菱 清（関西学院大学社会学部）

誰一人取り残さない防災を実現するための4つの原則
立木 茂雄（同志社大学社会学部）

シンポジウム12
10月8日（土） 9:30～10:20 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

これでいい!?若手公衆衛生医師のキャリアと育て方

座長：町田 宗仁（国立保健医療科学院）
吉田 穂波（神奈川県立保健福祉大学）

演者：行政機関の医師が持つべき専門性・スペシャリティの育成方法の模索
宮園 将哉（大阪府健康医療部）

職員育成に理解のある職場環境
武智 浩之（群馬県利根沼田保健福祉事務所、吾妻保健福祉事務所）

臨床医から社会医学系専門医へー行政7年目で見えてきた新しい世界、新しい自分
平本 恵子（広島市南区役所厚生部（広島市南保健センター））

これからの国としての確保、育成施策について
高橋 宗康（厚生労働省健康局健康課）

シンポジウム13
10月8日（土） 10:25～11:15 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

地域における新たな栄養政策の推進に向けて

座長：澁谷いづみ（愛知県瀬戸保健所）
新田 和美（福井県福井健康福祉センター）

演者：新たな課題に対応した栄養政策の推進
齋藤 陽子（厚生労働省健康局健康課栄養指導室）

地域における栄養政策の企画・立案の現状と課題～調査結果から～
辻井 博美（静岡県西部健康福祉センター（西部保健所））

行政栄養士に求められるスキルの提案～将来的な視点～
磯部 澄枝（新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部（南魚沼保健所））

行政栄養士に求められるスキルを発揮した事例 兵庫県の事例から
諸岡 歩（兵庫県保健医療部健康増進課）

シンポジウム14
10月8日（土） 13:15～14:25 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

父親支援の現状と今後の社会実装に向けて

座長：可知 悠子（北里大学医学部公衆衛生学） 竹原 健二（国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部）
演者：日本の父親の健康状態および育児への関わりに関する一連の分析 加藤 承彦（国立研究開発法人国立成育医療研究センター社会医学研究部）
自治体における父親支援事業の具体的な事例 小崎 恭弘（大阪教育大学健康安全教育系教育学部教員養成課程家政教育部門）
父親を主な対象とする育児支援事業の事例紹介 高木 悦子（帝京科学大学医療科学部看護学科）

シンポジウム15
10月8日（土） 14:30～15:40 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

「健康づくりのための身体活動ガイドライン」のファクトとエビデンス

座長：井上 茂（東京医科大学公衆衛生学分野） 小野 玲（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）
演者：世界と日本における身体活動ガイドライン：変遷とエビデンス 澤田 亨（早稲田大学スポーツ科学学術院スポーツ疫学研究室）
新たな身体活動ガイドラインの視座：座位行動 岡 浩一郎（早稲田大学スポーツ科学学術院）
新たな身体活動ガイドラインの視座：身体活動支援環境 井上 茂（東京医科大学公衆衛生学分野）
新たな身体活動ガイドラインのターゲット：慢性疾患を有する人たち 小熊 祐子（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター・大学院健康マネジメント研究科）

シンポジウム16
10月8日（土） 15:45～16:55 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

親子保健・学校保健における COVID-19の影響

座長：鈴木 孝太（愛知医科大学医学部衛生学講座）
演者：コロナ禍における子どもの生活習慣病予防 関根 道和（富山大学）
養護教諭の立場から～子どもへの影響と今後の学校保健活動のあり方～ 内山 有子（東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科）
保健行政の立場から ～COVID-19アウトブレイク下で地域母子保健を守る 福永 一郎（高知県安芸福祉保健所）
保護者の立場からみたこどもへの新型コロナ対策 可知 悠子（北里大学医学部公衆衛生学）

シンポジウム17
10月8日（土） 17:00～17:50 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

保健体育教科書から考える高校生のヘルスリテラシー

座長：村上 義孝（東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野） 黒谷 佳代（昭和女子大学食健康科学部健康デザイン学科）
演者：高校保健体育科科目保健の新学習指導要領の概要 渡邊 正樹（東京学芸大学教職大学院）
今回の教科書作成の経緯とポイント 中田 由夫（筑波大学体育系）
教科書作成における公衆衛生的観点 鈴木 孝太（愛知医科大学医学部衛生学講座）
指定討論者： 成島寿美子（甲府市立甲府商業高校）

シンポジウム18
10月8日（土） 9:30～10:20 第10会場（山梨県立図書館 多目的ホール）

ニーズに対応する e-mental health ツールの開発と浸透方策

座長：堤 明純（北里大学医学部公衆衛生学単位） 野村 恭子（秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座）
演者：エビデンス構築のための研究デザイン構築や利用者による適切な選択のための基盤整備 神野 真帆（経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課）
身体活動を用いた労働者の抑うつ・不安の予防に役立つ深層学習モデルの評価 渡辺 和広（北里大学医学部公衆衛生学）
災害地域のニーズ調査を基に IT ツールを開発、調査を展開している事例 中野 裕紀（福島県立医科大学、兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科、国立保健医療科学院）
ニーズに合わせた適切なアプリケーションを紹介する試み 高階 光梨（関西学院大学大学院文学研究科）

シンポジウム19
10月8日（土） 13:15～14:25 第10会場（山梨県立図書館 多目的ホール）

子どもたちの人生を豊かに育むための地域連携－家庭・児童養護施設・学校・地域・行政

座長：児玉 知子（国立保健医療科学院国際協力研究部）
演者：人生を豊かに育むために ～地域で取り組む「生きる力を育む生（性）教育」～ 廣末 ゆか（住民とともに活動する保健師の会、元高知県中芸広域連合）
地域が連携し行う「子どもたちの人生を豊かに育む教育」 渡會 睦子（東京医療保健大学医療保健学部、住民とともに活動する保健師の会）
紙芝居で伝える「生きるための心を伝える教育」の効果 會田 健司（児童養護施設山形学園）
児童福祉と子どもの「成長発達権」－法解釈・立法政策の見地から－ 三上 佳佑（朝日大学大学院法学研究科・法学部法学科）

シンポジウム20			
10月8日（土）	14:30～15:40	第10会場（山梨県立図書館　多目的ホール）	

「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の10年間の進捗状況

座長：大島　克郎（日本歯科大学東京短期大学）
芝田登美子（三重県鈴鹿保健所）

演者：う蝕有病状況の動向と今後の課題
山下　喜久（九州大学大学院歯学研究院口腔予防医学分野）

歯周病有病状況の動向と今後の課題
森田　　学（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科予防歯科学分野）

歯の喪失・口腔機能の動向と要介護高齢者への歯科保健サービス提供状況に関する分析
三浦　宏子（北海道医療大学歯学部保健衛生学分野）

歯・口腔の健康を支える社会環境の整備
福田　英輝（国立保健医療科学院）

シンポジウム21			
10月8日（土）	15:45～16:55	第10会場（山梨県立図書館　多目的ホール）	

10年後を見据えた新しい自治体管理栄養士養成プログラムの実際

座長：由田　克士（大阪公立大学大学院生活科学研究科食栄養学部門公衆栄養学）
澁谷いづみ（愛知県瀬戸保健所）

演者：自己効力感を高める研修プログラムと持続可能な評価制度の構築に向けて
諸岡　　歩（兵庫県保健医療部健康増進課）

公衆栄養のスペシャリスト及び公衆衛生のゼネラリストとしてのスキル向上に向けて
磯部　澄枝（新潟県南魚沼地域振興局健康福祉環境部（南魚沼保健所））

自治体栄養士における管理期・リーダー期の課題とその解決に向けたプログラムについて
田中　和美（神奈川県立保健福祉大学）

シンポジウム22			
10月8日（土）	17:00～17:50	第10会場（山梨県立図書館　多目的ホール）	

新型コロナ・新型タバコ時代の禁煙推進方策－新しい問題に立ち向かう－

座長：田淵　貴大（大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部）
片野田耕太（国立がん研究センターがん対策研究所予防検診政策研究部）

演者：新型タバコも含めた喫煙・受動喫煙の社会格差
竹内　研時（東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野）

妊産婦における新型タバコも含めた喫煙の害
財津　將嘉（産業医科大学高年齢労働者産業保健研究センター）

新型コロナウイルス感染症と禁煙推進
郷間　　巖（堺市立総合医療センター呼吸器疾患センター・呼吸器内科）

アプリとオンラインを活用した加熱式タバコ利用者の禁煙戦略
野村　章洋（金沢大学先端医療開発センター）

指定発言：
健康経営と禁煙推進
松本　泉美（畿央大学健康科学部看護医療学科）

シンポジウム23			
10月9日（日）	9:00～10:20	第1会場（YCC 県民文化ホール　大ホール）	

新型コロナウイルス感染拡大期において自治体の公衆衛生活動をどう守るのか

座長：和田　耕治（日本公衆衛生協会理事）
吉川　悦子（日本赤十字看護大学看護学部）

演者：北海道における COVID-19対応における行政支援の経験と今後に向けて
石井　安彦（北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課、北海道道立病院局）

「離島を抱える保健所」における新型コロナウイルス対策への取り組み
酒向摩貴子（沖縄県南部保健所）

IHEAT 事務局員として、自治体の公衆衛生活動支援について検討する
高岡　誠子（一般財団法人日本公衆衛生協会健康危機管理支援部 IHEAT 事務局）

新型コロナウイルス感染症対応における課題を踏まえた今後の展望
近藤　祐史（厚生労働省大臣官房厚生科学課健康危機管理・災対対策室）

シンポジウム24			
10月9日（日）	10:25～11:45	第1会場（YCC 県民文化ホール　大ホール）	

ウィズコロナ時代の公衆衛生活動　感染症と向き合いつつ地域活動を推進するために必要なリスクコミュニケーションとは

座長：日高　橘子（中京学院大学看護学部）
佐々木亮平（岩手医科大学）

演者：忘れてはならない保健所の公衆衛生活動
白井　千香（枚方市保健所）

地域活動再開における保健師の役割を考える
遠藤　綾子（陸前高田市福祉部保健課）

コロナ禍における高齢者の地域活動再開に影響した促進要因、阻害要因
森林友佳子（浦安市福祉部中央地域包括支援センター）

地域活動を再開するために必要なリスクコミュニケーションの実際
岩室　紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ））

シンポジウム25			
10月9日（日）	9:00～10:20	第2会場（YCC 県民文化ホール　小ホール）	

地域医療構想の実現に向けた人材育成の取り組みと課題【国立保健医療科学院企画】

座長：赤羽　　学（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部）
児玉　知子（国立保健医療科学院国際協力研究部）

演者：地域医療構想のコンセプトと意義～データが示す現状と未来～
小林　大介（神戸大学大学院医学研究科医療システム学分野）

地域医療構想の実現に向けた研修プログラムの開発と実践
小林　健一（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部）

地域医療の問題解決に向けたケースメソッドを用いた学びの共同体
渋谷　明隆（学校法人北里研究所）

地域医療構想に向けての人材育成
小松本　悟（藤田医科大学、足利赤十字病院）

シンポジウム26
10月9日（日） 10:25～11:45 第2会場（YCC 県民文化ホール 小ホール）

モニタリングレポート委員会による「賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート」

座長：尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学分野）

演者：感染症対策の目的を保健医療体制の崩壊防止に置くべきか？
横川 博英（順天堂大学医学部総合診療科学講座）
高橋美保子（埼玉医科大学医学部社会医学）

不妊治療の医療保険適用拡大の是非
鈴木 貞夫（名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野）
吉田 都美（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系薬剤疫学分野）

シンポジウム27
10月9日（日） 9:00～9:50 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

公衆衛生学・社会医学領域のシームレスなキャリアとコンピテンシー

座長：磯 博康（国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター）
今中 雄一（社会医学系専門医協会、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

演者：公衆衛生・社会医学系のキャリアパス
今中 雄一（社会医学系専門医協会、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

行政系、教育・研究系・医療系の垣根を超えたキャリアについて
杉山 雄大（国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター、筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

臨床医学×公衆衛生の考察～健全な病院づくりと健康なまちづくりの視点から～
亀田 義人（千葉大学医学部附属病院病院長企画室）

災害医学からみた社会医学領域のキャリア
高橋 礼子（愛知医科大学災害医療研究センター）

社会医学と臨床医学のシームレスな教育：厚生労働科学研究の紹介
和田 裕雄（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）

シンポジウム28
10月9日（日） 10:55～11:45 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

地域医療の質指標と地域医療計画

座長：今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野）

演者：NDB を用いた地域医療システムの質指標、DPC データを用いた AMI のリスク調整死亡率の算出
愼 重虎（京都大学大学院医学研究科医療経済学分野）

兵庫県における地域医療構想の推進に向けた、データを用いた取り組み
小林 大介（神戸大学大学院医学研究科医療システム学分野）

ロジックモデルと指標を活用した医療計画の評価と改善
埴岡 健一（国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科医療福祉ジャーナリズム分野）

京都府における地域医療の質指標の分析とその普及に向けた課題
猪飼 宏（京都府立医科大学附属病院医療情報部）

指定発言：
医療提供体制に係る政策立案におけるデータの活用について
谷口 大樹（厚生労働省医政局地域医療計画課）

シンポジウム29
10月9日（日） 9:30～10:20 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

子どもたちのスマートフォン依存を予防するために－今、私たちができること－

座長：瀬在 泉（防衛医科大学校医学教育部看護学科）
磯村 毅（予防医療研究所、スマホ依存防止学会代表）

演者：1歳時のスクリーンタイムと3歳時の自閉スペクトラム症との関連：エコチル調査より
久島 萌（山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター）

乳幼児等のスクリーンタイムとその影響に関する母子保健活動の現状報告
鳴海 悦子（弘前市役所健康こども部健康増進課）

学校現場におけるスマホ・ゲーム依存予防の啓発活動の実際
寺本 弘子（豊田加茂薬剤師会、愛知県学校薬剤師会、スマホ依存防止学会）

電子スクリーン症候群（ESS）を予防して子どもたちの豊かな心を育む
石黒 仁（山梨県社会教育委員）

シンポジウム30
10月9日（日） 10:25～11:15 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

大気汚染と妊婦や子ども、青年期の成人への健康影響-注目される疫学データ・曝露モデル-

座長：戸次加奈江（国立保健医療科学院生活環境研究部）
奥村 二郎（近畿大学医学部環境医学・行動科学教室）

演者：妊娠中の大気汚染濃度と産科合併症との関連性について
道川 武紘（東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野）

黄砂の、妊婦や子どものアレルギー症状への影響
金谷久美子（京都大学大学院医学研究科エコチル京都ユニットセンター）

日常生活における大気汚染物質曝露が青年期の呼吸器系に及ぼす影響
余田 佳子（兵庫医科大学医学部公衆衛生学）

大気汚染物質曝露濃度推計の手法と日本におけるその適用
荒木 真（大阪大学大学院工学研究科、国立環境研究所エコチルコアセンター）

シンポジウム31
10月9日（日） 11:20～12:10 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

健康寿命の延伸に向けた自治体と大学の連携による EBPM の推進

座長：後藤 温（横浜市立大学大学院データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻）
黒木 淳（横浜市立大学国際商学部）

演者：横浜市で活用が進むレセプトデータ～大学と連携した YoMDB の活用による EBPM の推進～
大山 紘平（横浜市役所医療局、横浜市立大学共同研究員）

つくば市・大学・NC が連携して進める糖尿病に関するアンケート調査
杉山 雄大（国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター、筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

市町村職員と協働して EBPM を目指すーつくば市保健部参事の経験から
黒田 直明（つくば市保健部、筑波大学ヘルスサービス開発研究センター、コミュニティクリニック・つくば）

自治体と研究者がともに進める EBPM～糖尿病性腎症重症化予防を例に
津下 一代（女子栄養大学）

シンポジウム32
10月9日（日） 9:30～10:20 第10会場（山梨県立図書館 多目的ホール）

コロナ禍のリスクコミュニケーション：概念、リスクの表現方法、メディアへの情報公開

座長：蝦名 玲子（グローバルヘルスコミュニケーションズ、東京大学大学院医学系研究科）
田中 良明（埼玉県春日部保健所）

演者：危機管理の各段階におけるリスクコミュニケーション
蝦名 玲子（グローバルヘルスコミュニケーションズ、東京大学大学院医学系研究科）

SARS-CoV-2変異株とリスクコミュニケーション
齋藤 智也（国立感染症研究所感染症危機管理研究センター）

リスク「コミュニケーション」への遠い道：コロナ禍中の実践から
田中 幹人（早稲田大学政治経済学術院、ウィスコンシン大学マディソン校）

新型コロナパンデミックでのリスクコミュニケーション～メディアを介した情報公開～
田中 良明（埼玉県春日部保健所）

特別企画1
10月7日（金） 12:00～13:00 第1会場（YCC 県民文化ホール 大ホール）

公衆衛生 未来トーーーク！

座長：柿崎真沙子（名古屋市立大学大学院医学研究科医療人育成学分野）
山北 満哉（山梨県立大学看護学部看護関連科学領域）

登壇者：
鎌田 真光（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻健康教育・社会学分野）
舟田 彰（川崎市教育委員会事務局川崎市立宮前図書館）
伊藤 ゆり（大阪医科薬科大学医学研究支援センター医療統計室）
藤原 武男（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野）

特別企画2
10月7日（金） 18:00～19:00 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

「地方病」制圧の歴史と記憶ー20世紀、山梨県甲府盆地の経験をめぐって

座長：飯島 渉（青山学院大学文学部教授、感染症アーカイブズ代表）

演者：アレクサンダー・ベイ（チャップマン大学准教授、米国）
葉袋 勝（元山梨県衛生公害研究所副所長）
出井 寛（昭和町風土伝承館杉浦醫院館長）

緊急企画
10月8日（土） 13:10～13:55 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

このままで良いのか？－VUCA（予測不能の時代）における健診・保健指導？－

座長：杉森 裕樹（大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科）
中山 健夫（京都大学医学研究科社会医学系専攻健康情報学）

ディベート参加者：
立道 昌幸（東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学）
原 聖吾（株式会社 MICIN）
武藤 繁貴（聖隷福祉事業団保健事業部聖隷健康診断センター）
高谷 典秀（医療法人社団同友会）
福田 洋（順天堂大学先端予防医学・健康情報学講座）

地方衛生研究所研修フォーラム
10月7日（金） 10:00～11:30 第10会場（山梨県立図書館 多目的ホール）

COVID-19パンデミックにおける地域連携の取り組みと課題

座長：四宮 博人（愛媛県立衛生環境研究所）
吉村 和久（東京都健康安全研究センター）

演者：COVID-19対応における地方衛生研究所をめぐる2方向の連携
四宮 博人（愛媛県立衛生環境研究所）

COVID-19積極的疫学調査における意義と限界
田中 英夫（寝屋川市保健所）

COVID-19流行下の長崎県におけるアカデミア・医療機関と行政機関の連携の取り組み
田中 健之（長崎大学病院感染制御教育センター）

COVID-19疫学調査の観点からの国立感染症研究所と自治体の連携と課題
砂川 富正（国立感染症研究所実地疫学研究センター）

新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の地方衛生研究所のあり方について
佐々木孝治（厚生労働省健康局健康課）

奨励賞受賞講演
10月8日（土） 11:30～12:10 第2会場（YCC 県民文化ホール 小ホール）

座長：内田 勝彦（大分県東部保健所）
三浦 公嗣（学校法人藤田学園、藤田医科大学）

演者：健康危機管理における DHEAT 活動、活動検証からの教訓と今後の展望
服部希世子（熊本県人吉保健所）

保健師活動における EBPM（Evidence Based Policy Making）推進のための実践研究
堀池 諒（大阪医科薬科大学看護学部公衆衛生看護学分野）

優秀演題賞選考会			
10月7日（金）	15:30～17:50	第3会場（YCC 県民文化ホール	会議室）

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座）
大森 純子（東北大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学分野）

演者：1型糖尿病発症に関わる因子ーインフルエンザと1型糖尿病発症の Target Trial Emulation
西岡 祐一（奈良県立医科大学公衆衛生学講座、奈良県立医科大学附属病院糖尿病・内分泌内科）

非糖尿病一般地域住民の日常生活における血糖モニタリングデータと飲酒習慣との関連
石原 真穂（大阪大学大学院環境医学）

妊娠中の加熱式タバコ使用と幼児アレルギー：JACSIS データを用いた case-control 研究
財津 將嘉（産業医科大学高年齢労働者産業保健研究センター）

高齢者の身体活動量・座位時間と要支援・要介護認定リスクとの量反応関係
清野 諭（東京都健康長寿医療センター研究所）

教育歴と健康寿命との関連：大崎コホート2006研究
猪股 栞（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野）

拡張型心筋症患者に対する早期心臓リハビリテーションが患者の短期予後に与える影響
安福 祐一（慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室、奈良県立医科大学公衆衛生学講座）

日本の水道水天然フッ化物濃度と子どものう蝕の関連：21世紀出生児縦断調査の分析
松山 祐輔（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野）

大規模レセプトデータを用いた在宅医療需要の将来推計手法の確立
中西 康裕（国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部）

糖尿病関連指標に対する血糖値の調節に関わる遺伝的要因と栄養素摂取量の関連
橘 拓希（静岡県立大学薬食生命科学総合学府食品科学専攻公衆衛生学研究室）

自閉スペクトラム症特性と心理的ストレス反応の関連への職種による緩衝効果
寺道 紘毅（産業医科大学産業生態科学研究所産業精神保健学教室、産業医科大学高年齢労働者産業保健研究センター）

在住外国人のソーシャルキャピタルと主観的健康感及び精神的健康との関連
羽柴穂乃香（神戸大学大学院保健学研究科）

抑うつ症状とパンデミックによるセルフケア行動変化の関連：2年間の縦断調査
枝広あや子（東京都健康長寿医療センター研究所）

国際参加賞受賞講演 International Participant Award			
10月8日（土）	10:00～12:15	第8会場（YCC 県民文化ホール（練習室5））	

座長：Sekiyama Makiko（National Institute for Environmental Studies）
Takemi Yukari（Kagawa Nutrition University）
Umeda Maki（University of Hyogo）
Sone Tomofumi（National Institute of Public Health）
Asahara Kiyomi（St Luke's International University）
Fukuda Yoshiharu（Teikyo University）

演者：Factors associated with the productivity of health center staff in Lao PDR
Maniphet Phimmasane（Department of Health Personnel, Ministry of Health, Lao PDR）

Understanding and practice of PHC within UHC in the Philippines
TJ Robinson Moncatar（College of Public Health, University of the Philippines, Manila）

Assessment of Mongolian dietary intake for planetary and human health
Delgermaa Dashzeveg（National Center for Public Health, Ministry of Health, Mongolia）

Relationship between wife-beating attitudes and diarrhea in children under five
Hasan SM Mahmudul（German University Bangladesh）

Children with neuro-developmental disorders in Cambodia
Sreyleap Moeun（Ministry of Health, Cambodia）

Home environment factors associated with early childhood development in Vietnam
Xuan Minh Tri Tran（Tokyo Medical and Dental University）

Comparison of definitions and estimating the prevalence of MetS in Mongolia
Enkhtuguldur Myagmar-Ochir（Dokkyo Medical University）

The association between waterpipe tobacco smoking and gastric cancer mortality
Truong Thi Thuy Dung（International University of Health and Welfare）

Content analysis of human papillomavirus vaccine related videos on YouTube
Yinghan Xu（Waseda University）

ランチョンセミナー1			
10月7日（金）	12:00～13:00	第9会場（山梨県立図書館	イベントスペース）

送電線の電磁波って危ないの？－WHO の見解を紹介します－

座長：高田 雄史（一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター）
演者：大久保千代次（一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター 所長、WHO 国際電磁界プロジェクト国際諮問委員会委員）
共催：一般財団法人電気安全環境研究所 電磁界情報センター

ランチョンセミナー2			
10月7日（金）	12:00～13:00	第2会場（YCC 県民文化ホール	小ホール）

感染症危機管理とリスクコミュニケーション

座長：磯 博康（国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局）
演者：中島 一敏（大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科）
共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー3

10月8日（土） 12:00～13:00 第3会場（YCC 県民文化ホール 会議室）

コロナ禍で見えてきた新たな医療・社会インフラの構築
～感染症対策・医師の働き方改革へのアプローチ～

座長：森 清司（野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー株式会社）

演者：パンデミック対策としての遠隔 ICU、医師の働き方改革としての遠隔 ICU
中西 智之（株式会社 T-ICU）
IoT と周産期遠隔医療ネットワークを活用した、母子死亡率の低減とその国際展開
尾形 優子（メロディ・インターナショナル株式会社）
Smart119が創造する未来医療 ―病院前脳卒中 AI 予測―
中田 孝明（千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学）
共催：野村ヘルスケア・サポート&アドバイザー株式会社

ランチョンセミナー4

10月8日（土） 12:00～13:00 第9会場（山梨県立図書館 イベントスペース）

ワクチンによる感染症対策－流行対策から eradication そしてがん対策まで－

座長：角野 文彦（滋賀県健康医療福祉部）
演者：岡部 信彦（川崎市健康安全研究所）
共催：一般社団法人日本ワクチン産業協会

ランチョンセミナー5

10月8日（土） 12:00～13:00 第10会場（山梨県立図書館 多目的ホール）

地域医療と公衆衛生の社会的協働の実現を目指して
～地域医療とヘルスプロモーションを実現する地域医療振興協会の取組～

座長：宇田 英典（公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センター）

演者：町の資源をゆるやかにつなぐ真鶴町国保診療所「町の保健室」の取組み
嶋田 雅子（公益社団法人地域医療振興協会企画調査部）
「ずっとこのまちで暮らし続ける」ためのヘルスプロモーション活動
楠本 直紀（公益社団法人地域医療振興協会台東区立台東病院）
野本 潤矢（公益社団法人地域医療振興協会台東区立台東病院）
共催：公益社団法人地域医療振興協会

スポンサードセッション

10月8日（土） 13:30～14:30 第2会場（YCC 県民文化ホール 小ホール）

健康格差縮小に向けた取組～その対策と実態～

座長：近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野）

演者：社会経済的要因と子どもの栄養・食生活
村山 伸子（新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科）
健康格差縮小に向けた保健医療の枠を超えた連携の取組の実際
近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野）
共催：株式会社はくばく

